



平成 28 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 エーザイ株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 執 行 役 CEO 内 藤 晴 夫
(コード番号 4523 東証第1部)
問 合 せ 先
執 行 役 コーポレートアフェアーズ担当
佐々木 小夜子
(TEL 03-3817-5120)

**米国子会社エーザイ・インクが AkaRx, Inc.の株式譲渡契約を締結
― 自社開発中の血小板減少症治療剤 avatrombopag の権利譲渡―**

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫)は、米国子会社であるエーザイ・インクが、同社の保有する AkaRx, Inc. (以下「AkaRx」)の全株式を PBM キャピタルグループ(本社:米国バージニア州)に譲渡する旨の株式譲渡契約を締結しましたのでお知らせします。

本株式譲渡に伴い、エーザイ・インクは、AkaRx が所有する血小板減少症治療剤 avatrombopag (一般名、開発コード:E5501)に関する全世界を対象とした開発・販売・製造権を PBM キャピタルグループに譲渡します。一方、本株式譲渡の対価として、エーザイ・インクは契約一時金ならびに本剤の商業化に応じたマイルストーンペイメントを受領します。

本剤は、経口の新規化合物であり、血小板産生を促すトロンボポエチン受容体のアゴニストです。本剤については、現在、日本、米国、欧州、アジアにおいて、手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症を対象とした臨床第Ⅲ相試験が進行中です。なお、本試験は PBM キャピタルグループにより引き続き実施されます。

当社は、「がん」「神経」領域を重点疾患領域と位置づけ、事業ポートフォリオの見直しを進めてきました。今回 AkaRx の株式を PBM キャピタルグループに譲渡することにより、経営資源を、より一層「がん」「神経」領域に集中的に投入していきます。

なお、本株式譲渡に伴う業績への影響は、本日公表の平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の通期業績予想(IFRS)の修正に関するお知らせに反映しています。

以上

参考資料

1. avatrombopag(一般名、開発コード:E5501)について

avatrombopag は、経口の新規化合物であり、巨核球およびその前駆細胞に作用して血小板産生を促進するトロンボポエチンの受容体アゴニストです。当社は、2010年1月に AkaRx, Inc.の全株式を取得し、AkaRx, Inc.の開発品であった本剤の全世界を対象とした開発・販売・製造権を獲得しました。本剤については、現在、日本、米国、欧州、アジアにおいて、手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症を対象に臨床第Ⅲ相試験が進行中です。

2. PBM キャピタルグループについて

PBM キャピタルグループは、Paul Manning 氏によって創設された主にヘルスケア関連の投資に重点を置く投資会社です。多くの人々の生活の質を改善し、生命を救う可能性のある革新的な技術を開発する優れた科学者や技術者、経営者とパートナーを組み、科学、イノベーション、創造性を通じて人々の生活を変える強固な財務基盤の企業を作ることを目的としています。PBM は、魅力的な投資機会に対して、業界に関する豊富な知識や人的ネットワークに加えて、優れたオペレーション上の専門性を提供し、さらに起業家精神をもたらすことにより価値創造を行います。PBM キャピタルグループの詳細情報は、<http://www.pbmcap.com/>をご覧ください。